

5. 広げる ～確かな学びを積み重ねて～

高齢者擬似体験



車いす体験



やってみると大変さがよく分かりました。



妊婦擬似体験

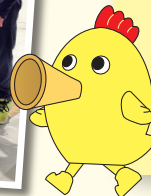
アイマスク体験



段差や坂を乗り越えるのは大変でした。

ヒューレおおいたは、J:COM ホルトホール大分 1階にあるよ！

「ヒューレおおいた」では、様々な体験活動ができるんだ！



体験を通して「相手の立場に立って接したい」という気持ちが強くなってきたぞ。



その気持ちが「差別をなくす」という行動へとつながっていくんだね。

こんな記事もあったよ！



「女将の思い」

群馬県にある伊香保温泉での話である。1990年代のことだ。一軒の旅館で、大浴場にいた宿泊客が怒声をあげ、苦情を訴えていた。障害者の客が浴場を汚したからだ。すみません、すみません。女将（おかみ）だった松本和子（ともこ）さん（80）は何度も頭を下げて、謝った。

それでも客の怒りは収まらなかった。ついには障害者の宿泊が悪いのかのようなことも口にした。女将はたまりかねて言った。「お客さんが別の旅館に行ってもえませんか。この人たちは、うちにしか来られないんですよ」

確かに当時、車イス用の設備を整え、障害者を積極的に受け入れている宿は少なかった。そばにいた娘の由紀（ゆき）さん（54）は思った。乱暴な言い方だけど、母親は間違っていない。「あつぱれ。うちはそういう旅館なんだ」

【朝日新聞 2023.12.9 「天声人語」より】

「無意識の偏見」に気づき・向き合うことが、差別をなくすことにつながっていきます。

ちょっと立ち止まって、自分の中の「当然」「ふつう」を見つめなおしてみませんか？



豊かな心を育む人権・同和教育